

## 「新しい年を迎えて」

理事長 金子 修司

新しい年を迎えて	1
新理事の抱負	2-3
研修旅行記	4-5
セミナー	6-7
新組合員紹介	8
優良建築設計者表彰	8
委員会活動	9
同好会	10-11
協会会より 編集後記	12

新年明けましておめでとうございます。新しい年が皆様にとって希望に満ちた活気ある年となる事を祈念いたします。

アベノミクスの効果は実感出来ませんが、安倍内閣のブレのない舵取りは長期政権としての安定感により信頼と期待が持たれます。国内外の諸問題の解決は厳しいとは言え本格的な経済発展への期待をしたいところです。

さて、オリンピック関連施設の建設計画に対する話題、特に新国立競技場計画を巡る国を挙げての大論争は環境や景観論を越え社会の本質に迫る大切な問題でした。禍根を残した国際コンペ、緊急避難としてのデザインビルドの採用等、今後への大きな課題を残しました。設計と施工の分離により、責任を持って質の高い優れた建築の実現を目指す事が必要です。

さて、私達の横浜市建築設計協同組合にとって昨年は大変厳しい年でありました。耐震関連の業務が終焉を迎え、受注量の減少に苦慮致しました。継続的な公共施設の維持保全業務に力を注ぎ、品質の高い成果品を実現する事に全力を尽くし今後への展開を図って参ります。

年末に横浜で発覚した「マンションの杭長」の問題は耐震偽装事件で失墜した建築の専門家としての資格の評価を再び汚す問題でした。業界のあり方に起因する部分が大きいは言え、施工管理する資格者の資質が問われます。私達は専門家として社会から期待され必要とされる存在である事を改めて自覚しなければなりません。

昨年の最大の話題であった新市庁舎の計画は「デザインコンセプトブック」による、横浜方式とも言えるデザインビルドにより、事業者が決定されました。世界的建築家槇文彦氏の品位あるデザインに大きな期待が持たれます。建築家村野藤吾から槇文彦氏へ引き継がれる新しい市庁舎が関内地区の発展と、港町横浜の歴史を継承しさらなる発展への起爆剤となることを願いたいと思います。また建築家村野藤吾によるモダニズム建築の傑作と評価される現市庁舎の利活用について、市民として専門家としてしっかりと見守って行きたいと考えます。

新しい年を横浜再生のスタートの年として皆様と共に、より良い横浜の街造りに大きな期待と希望をかけたいたと考えます。

本年も皆様のご理解ご協力をお願いして新年のご挨拶と致します。



現市庁舎 村野藤吾設計



新市庁イメージピアス  
(横浜市ホームページより)

## 新理事の抱負

### 副理事長就任にあたり

(株)柳田建築設計 柳田 勇

受託担当理事として長年役目をいたしてきましたが、今までは、受注した業務の配分に気配りすることに集中してきたため、受注業務に関しては、努力が不足していたと反省しております。社会の変動は激しさを増しつつあり、種々戦略をもって対応しないと受注の獲得が困難となってきております。近年、随意契約は激減し、民間のマンション、特定建築物等の耐震診断、補強設計業務等が競争入札方式になり主流となってきて、受託量は目途が立たない状況であります。また、これらの業務は、評定取得が義務付けられているので、YSKの今までの技術の蓄積、評定委員の先生方から多くを学んできたことは、これからのYSKの生きる道の礎となり糧となると思われます。事務所は来年2月には開設45年目を迎えます。これも一重に多くの方々に助けられてきた賜物と深く感謝しております。仕事の生甲斐は何か、仕事が完成した時の達成感もありますが、喜びも一塩であります。『今井兼次』著に“職人貧乏人宝”の言葉として、「その職分に生甲斐と勇気と誠実をもって、自分たちの職分に従事しているのは、人宝という広い人間愛に根差した自分たちの使命を自覚しているからであります。彼らの仕事によって恩恵を受ける人々の喜びを己自身の喜びとしているからである。」建築界、この精神を心したいものであります。『今井兼次』著 作家論Ⅱ、芸術家の倫理より



### YSKの変節に想う

(株)像建築設計事務所 白井洋司

「横浜で公共施設の設計をしたい」との思いで、横浜市建築設計協会を紹介され入会、まもなく協同組合に組織化されたYSK。誕生時の感慨を知る者は私1人になってしまった。当時は最年少所長の私、今でもはっきりと思い浮かべる所長さんたちの容姿と言動、その意気軒昂さと厳しさにびっくり、私の恩師とは全く異なる先人に、戸惑いを感じた。理事さんたちの合言葉「団結して仕事を受注するのだ、そのために組合を立ち上げたのだ」と。そして仕事の取り合いの時代、耐震で仕事量に恵まれた時代を過ぎ、今、YSKは変節の時を迎えていると感じる。そんな大切な時にでしゃばって出てきた。何の役に立つのだろう、と私は考える。次々と世代替わりが進み若手が台頭、頑張り、女性所長の活動に拍手を送る。少しの間、今までを整理し、YSKの次の姿を描こうと想う。YSKを生んだ生き残りとして。



## 理事就任に思う

(株)イケ建築事務所 池谷 透

創建計画の相田さんの紹介で、平成四年にYSKに入会させて頂き、あっという間に23年の月日が経ってしまいました。入会当時私は42歳でしたが、構造グループはじめ、所長さんのほとんどの方は、50歳前後のバリバリの方々に、仕事の上で、教えられることも多く、何とかついて行きたいとの思いで必死でした。そのおかげで、耐震診断、耐震改修に関しては、そのすべてをYSKの業務を通じて習得し、その業務に支えられ、事務所を維持することも出来、感謝しております。今後、横浜市の耐震業務も終了し、新たな展開をYSKが求めていかなければならない時に、新理事として選出されたことに対し、きちんとした自覚を持ってやっていきたいと思えます。また、事務所の世代交代の橋渡しの立場で、少しでも貢献できればと思っております。



## 新理事の抱負

(株)田辺設計 田島文男

私は平成5年に田辺設計に入社しました。前所長の故古屋が、東京に在籍していた当時の事務所の先輩で、そろそろ横浜で仕事をしないかと誘われたのがご縁でした。入社そうそうに、YSKに連れて行かれ、「95型の標準図」作成の業務を命じられ、そもそも「標準図」とはどのような図面であるか理解しておらず、学校の設計もあまり経験がなかったので、かなり苦労したのを思い出します。その後、小・中学校の耐震補強の意匠幹事を任せられ長きにわたり耐震補強業務に関わって参りました。しかし、小・中学校の耐震業務も終焉を迎え、耐震に替わる業務が求められています。現在、教育環境研究委員会に在籍し、木質、木造について数年関わってきましたが、市と連携して何か業務に繋がればと思っております。今年度の総会で理事に選出され、YSKの理事としての自覚と、責任感を重く受け止めています。受注が減少している中、理事として何が出来るかを前向きに考え、YSKの力になっていきたいと思えます。また、「横浜」を愛する一人として、今後も「横浜」に貢献出来ればと思っております。これからも組合員の皆様に助けをいただきながら、悔いのないよう頑張っていきたいと思えますのでどうぞよろしくお願いいたします。



森の資源が循環する公民協働の「生き物に優しい低炭素なまちづくり」宣言を高らかに謳いあげている四国の高知県梼原町(ゆすはらまち)が、今回の研修旅行の目的地。その「ゆすはら町」に身を置き体感し環境を考える2日間。

福島原発事故のはるか前に自然エネルギーの価値に気づき、行政が率先して環境について具体的な行動をしています。梼原町は高知県と愛媛県にまたがり四万十川の源流域でもあります。人口4000人弱、町面積の91%を森林が占め、かつては林業の町だったのですが、環境にやさしい低炭素なまちづくりを進めています。かつて明治維新の際、活躍した坂本竜馬ら勤王の志士達が脱藩した際、この「ゆすはら町」の道を通り江戸を目指した「脱藩の道」がある町としても知られています。

風力発電、杉チップを使ったバイオマス発電など、35年後の2050年には温室効果ガス排出量70%の削減と、地球資源利用によるエネルギー自給率100%超を目指しています。その街づくりは、全国から注目され、ここ数年自治体等の団体が視察に訪れています。山間の小さな町ながら「環境モデル都市」として日本全国でわずか13自治体のひとつに選定されています。

10月22日早朝7時過ぎに羽田空港に集合。総勢25名。この時間は全国にビジネス客が飛び立つため、航空機も渋滞して飛び立つのが15分ばかり遅れました。高知龍馬空港に9時35分到着。横浜より風が暖かく感じます。早速バスに乗り目指すは四国のチベットと呼ばれ、標高400mの雲の上の町、「梼原町総合庁舎」。平成18年に完成した庁舎は「木」の庁舎としては日本で最も規模の大きいもののひとつだそうです。構造は杉集成材を用いたダブルチラス構造。材料はすべて地場で採れた物だそうです。加工は機械がないため、他県に持って行ったそうです。内観もとても庁舎の内部とは思えない雰囲気。森の中にいるようです。梼原町の環境モデル都市としての取り組み内容が町の担当の方により2階会議室にてスライドを使用して説明をして頂きました。

雨、雪の多い気象条件を考慮して庁舎内には農協、銀行、商工会などの施設と一緒に入り半屋外の広場があります。ここでお祭り等のイベントが開催されるとの事です。屋上には、組合の協力会員業者でもある元旦ビューティ工業(株)さんの太陽光パネルが設置され地下にはクールヒートチューブが設けられ建物全体の空調が施されています。行政が率先して地球温暖化の抑制に貢献して太陽光発電を始めとした環境への工夫を施し循環型の社会づくりにつなげている事が伝わってきました。

次に向かったのは「ゆすはらペレット」という地域で生じる製材端材や林地での間伐材時に生じる未利用資源を原料にして、固形燃料である木質ペレットを製造する施設。宿泊した「雲の上のホテル」のボイラー、この後見学した梼原学園の寮の空調にも利用されています。この梼原学園に併設する中学校の近く、梼原川のわずか6mの高低落差を利用して、発電力53kwの小水力発電を行っています。発電された電力は昼間は中学校に、夜は街路灯に使



用されているようです。この梶原学園に移動して内部を見学。小中一貫の学校で、ここもふんだんに地場の木が使われています。

あたりも暗くなり、この日の宿泊先である「雲の上のホテル」に移動。午前中に見学した庁舎と、このホテルも、設計監理は、今新国立競技場の設計に手をあげ一番注目されている隈研吾。地元産木材を使用し飛行機の翼をイメージしたとの事です。

1994年完成の建物。このホテルも来年度いっぱいまで壊され、新たな施設に建て替えが予定されているそうです。このホテルから温泉施設である「雲の上の温泉」に通じるブリッジが外観はまるで周辺の森に溶け込むかのようにたたずんでいました。以前見た山梨県にある猿橋が記憶によみがえりました。帰ってから調べると、この猿橋は「刎橋」(かけはし)という両端から刎木を重ねて持ち出しながら橋桁を乗せていく架構形式で、唯一現存しているのが山梨の「猿橋」。設計者もこの橋の忘れ去られようとしている架構形式を後世に残そうという意味で、採用したのかもしれない。

二日目は9時に宿泊施設を出発。バスに揺られる事、一時間あまり、うっそうとした森をぬけると、素晴らしい風景が広がる四国のカルストに到着。日本の三大カルストの一つで標高1485m。夏から秋にかけては牛が放牧され、笹原に白い石灰岩群が続くなかには風力発電用の風車が回っていました。発電能力：600kw×2基、平均発電量：2740kw(計画3000kw)、売電単価：11.5円/kw、年間平均売電額：約3300万円。さわやかな風の吹く大地を30分位散策した後、昼食会場に移動。わずか2時間弱の滞在でしたが、日本ではないヨーロッパのどこかの高原にいるような時間を過ごすことができました。

「低酸素社会」と言われてもなかなかイメージが湧かないのですが、今回の視察を体験して、人類が目指す社会の姿を具体的にわかりやすく示しているのが、「環境モデル都市」に選定された梶原町だと感じました。

高い目標を掲げて先駆的な取り組みにチャレンジしている梶原町。子孫のために少しでも地球温暖化の速度を遅らせることが我々の使命だと感じたこととともに、建築設計を業としている集団であるYSKも、日頃の仕事の中で常に温暖化を食い止めるべき建物を作り出していくように努力していくべきだと思った2日間でした。



## 「平成27年度YSK木造・木質化研究会」について

(株)渡辺建築設計事務所 佐山 泰

YSKの「木造・木質化研究」は、平成21年度から数えて7年目を迎えました。また、昨年度からは、教育環境研究会に新構造研究会を加え『横浜市の公共建築物における木材の利用の促進に関する方針』の具体的な研究へと組織を再編成しております。

昨年度までは、講師を招いて「木についての基本的な学習」や「木造・木質化の施設見学」を中心に研鑽してまいりましたが、今年度は、実際に木造の設計監理に取り組んでいる組合員事務所に作品を紹介していただき、図面や写真を基に意見の交換を行いました。

(株)ケー・アール研究所の保育園では、SE工法を採用し、燃え代柱や燃え代梁(準耐火建築物)を室内に見せながら、設備との調整を行っていること、工事監理においては製品検査や基礎との取合いなど、現場で苦労したことも踏まえ具体的な説明をしていただきました。



(株)ケー・アール建築研究所 保育園

(株)野口建築設計事務所の屋外体験施設では、在来工法を採用し、金物の納め方など構造設計者との調整やメンテナンス、積算や単価入れについて苦労したことなどを話していただきました。また、工事工程に基づき基礎や軸組の検査などの監理についても説明をしていただきました。



(株)野口建築設計事務所 屋外体験施設

(株)田辺設計のコミュニティーハウスでは、基本設計から実施設計段階での関係者への説明、木造を採用した理由などを説明していただき、集成材と一般の流通材を組み合わせた設計、大スパンの施工方法など苦労した部分をパワーポイントを使ってわかりやすく説明していただきました。



(株)田辺設計 コミュニティーハウス

意見交換の場では、木造を採用した経緯や原局や担当課への説明・平面計画・設備計画、構造設計者とのやり取り、確認申請・工程検査、積算や見積徴収の方法、工事監理の仕方など、基本設計から実施設計、工事監理に至るまで、幅広い質問や回答、今後の問題点など忌憚のない意見交換が行われました。また、今年度後半も今まで以上に積極的な活動を展開し、YSKのスキルアップに努めていきたいと考えております。



テーマ：関内・関外地区に夢を！ ..過去・現在・未来..

主催：YSK・NPO保全センター・神奈川県中小企業団体中央会

建築セミナーは平成18年から始まり、今年で10回目になりました。今年は、以下のような内容で有意義なセミナーとなりました。お手伝いいただいた皆様に御礼申し上げます。

## 第1部 講演会

「関内地区の歴史を知る」	横浜都市発展記念館 青木祐介様
「関内地区の現在～未来」	横浜市建築局 企画部長 秋元 康幸様
「関内・関外へ期待する」	勝烈庵グループ社長 馬車道商店街理事 本多 初穂様

- ◆青木様のお話 海であった関内周辺は江戸時代に埋め立てられ、ペリー来航による開港、大岡川の分流の橋と関門を置き内側を現在の関内と呼んだこと、大火をきっかけに横浜公園・日本大通りで分け西県庁側を日本人居留地、東側を外国人居留地に、関東大震災で多くの建物を消失、幾多の災害を乗り越え現在がある。
- ◆秋元様のお話 都市部の政策は 関内・横浜という歴史的文化価値や芸術性の高さを利用した創造の場を提供すること。
- ◆本多様のお話 歴史的建物を守るための建築基準法の緩和、関内地区の小学校の利用状況、今後この地区は歴史的建物を残しつつ、未来の子供達の事も考慮した街づくりを期待したい。

## 第2部 シンポジウム

モデレーター YSK理事長 金子修司 パネリスト 青木祐介様 秋元康幸様 本多初穂様

- ◆行政が何をするかを待つのでなく市民一人一人が意識し街を変えてゆく気持が必要。
- ◆多くの空地があるが駐車場だけでなく活性化に繋がる有効活用をもっと考慮すべき。
- ◆活性化の為の補助金申請は地域商店主でも容易に出来るような考慮がほしい。
- ◆訪れたいくなる街づくりのため、目先の費用でない長い目の技術が必要。



## 新組合員紹介



(株)須山設計 稲葉 晃宏

今年の春から、廣木俊行の後任として代表取締役役に就任いたしました。まだまだ未熟者ですが、困難な状況も真摯に受け止め、機動力で皆様のお役に立てるよう、頑張りたいと思います。

今後も変わらない御厚情がいただけますよう、よろしくお願い致します。



(株)J O 建築企画設計 河合 利紀

この度、代表取締役役に就任致しました。21世紀を迎えた頃から色々な意味で建築に携わる人間性を問われる時代、と感じます。微力ではありますが、これから皆様のご協力を得てYSKの今後に小さな足跡を残したいと思います。年齢的にはリタイアのご挨拶が相応しいのですが、就任挨拶です！

よろしくお願い致します。



横浜構造設計株式会社 宮田 和浩

この度、宮崎伸一の後任として所長に就任致しました。会社の若返りを計り活性化させるための交代です。私は入社からYSK業務に携わる事が多く諸先輩方より色々とお教えました。それらが今日の業務に役立っており大変感謝しております。これからそれをお返し出来ればと思っております。これからもどうぞよろしくお願い致します。



(株)白川設計 白川 幹

この度、(株)白川設計 代表取締役社長に就任いたしました白川幹です。まだまだ未熟者ですが、若さと行動力で少しでも組合活動に貢献できるよう、努めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

## 優良建築設計者表彰

横浜市建築局が選定する2015年度優良建築設計者の表彰式が11月5日に行われました。

YSK組合員の表彰者は以下の通りです。

「新・増・改築部門」

【最優秀賞】

(株)ケー・アール建築研究所

鶴見区元宮二丁目方面保育園新築工事に伴う設計

【優秀賞】

(有)協和建築設計事務所

篠原小学校給食室増築工事に伴う設計

(株)渡辺建築設計事務所

市場小学校増築その他工事に伴う設計

「改修・改造部門」

(有)小倉一級建築士事務所

山田小学校屋内運動場改修工事に伴う設計



(株)ケー・アール建築研究所  
鶴見区元宮二丁目方面保育園新築工事



## 第14、15回 提案会&交流会

協力会は建築に関する情報、開発技術を活用し、YSKのパートナーとして役立つ組織活動を行っております。第14、15回提案会が『2015年2月27日及び9月11日』にそれぞれ川本工業8階会議室で開催されました。事前に発表テーマを決め、14回は「耐震改修に関するあれこれ」15回は「建物の長寿命化」とし、協力会の中から応募者を募り、発表企業を選出し、持ち時間をフルに使い、(材料、技術等)自社のPRに熱弁を奮いました。

### ・第14回 平成27年2月27日開催 【発表テーマ】:「耐震改修に関するあれこれ」

#### ■化研マテリアル(株)

土木・建築の耐震補強工事の実例  
発表(関東自動車道 病院学校等)



#### ■菊水化学工業(株)

吊り天井撤去対策に伴う不燃断熱  
吹付け材及び補強柱、梁等への  
耐火塗料について



#### ■三協立山(株)

アルミ建具改修に於ける商品、施工  
方法やハツリ工法とカバー工法の  
比較、エコ改修について



#### ■川本工業(株)

エンジン・ポンプ無しのスプリンクラー設備  
非常電源が不要なスプリンクラー設備



#### ■リリカラ(株)

飛散防止のガラスフィルム説明とガラス  
フィルムのインクジェットから壁紙のインクジェットまで



### ・第15回 平成27年9月11日開催 【発表テーマ】:「建物の長寿命化」

#### ■YKK AP(株)

3種の窓改修工法について



#### ■(株)エービーシー商会

アークエーブ樹脂E X P. Jについて



#### ■三協(株)

赤外線外壁調査改修について



#### ■(株)日立ビルシステム

エレベーターリニューアルについて



第14、15回共それぞれ組合員の所長、所員及び協力会併せて約70名の参加者がありました。協力会からは、今回発表の機会にもれた企業からも多くの出席をいただき、提案会終了後の交流会で活発な意見交換もあり、大いに盛り上がりました。

次回、平成28年4月開催予定(第16回)にも奮ってご参加くださいますようお願いいたします。<sup>9</sup>

## 絵画同好会

忠隈 宏子先生

初心者からベテランまで幅広いメンバーの「えすき〜ぽ」。回を重ねて記念すべき20回展となりました。

初心者も中堅となり、ベテランは我道を歩み続け、個展・グループ展と活躍し、又、水彩画の指導者として実力を発揮している方もいます。

厳しい(?)批評でよく理解できなかった方も、個性的で魅力的な作品へと様が変わり。さすが建築関係の方!と思われる風景画も多数。自分の世界に遊びながら心豊かな表現の静物画。お孫さんの成長を描き続ける方。コスチューム・ヌードの人物画。表現材料も水彩絵の具・パステル・コラーージュと様々。具象からやや抽象まで表現方法も変化に富み、個性あふれる楽しい展覧会となりました。メンバーの皆様、スタッフの方々に感謝!!

・・・[余談]ノーベル医学生理学賞受賞の大村智氏は「寄生虫感染症の薬を開発」し多くの人々を救いましたが、興味深い事に、大変な美術愛好家でもあり、私財を投じて、葦崎大村美術館を建て、自身で集めた絵画や陶器等を多数収蔵し、自らも館長をなさっています。横浜にもこの様な方が現れることを期待しつつ。



## ゴルフ同好会

協力会代表 齋藤 政勝

今年度のYSKゴルフ同好会は、例年通り3・5・12月と年3回の開催となりました。

3月・5月は、良天に恵まれ絶好のゴルフ日和でしたが12月は午前中雨で寒く午後から薄日がさすような天候でした。YSKのゴルフコンペはかなりの確率で雨が多いコンペですが今年は上々の天候といえます。今回12月3日のコンペで第62回と歴史があるコンペですが、年々本会設計事務所の方々参加が減っている状況です。

本会設計事務所と協力会の懇親と情報交換の場として活動しておりますので、ご多忙とは思いますが、この紙面を借りて本会設計事務所の方々にご参加をお願い申し上げます。概ね5組で計画しておりますが、最近は参加者が減っており3~4組のコンペとなっております。賞品総額10万円ですので優勝すれば、結構奥様に良いプレゼントになりますので会員皆様方の多数の参加をお願いいたします。



## テニス同好会

(株)横浜設計事務所 土屋 三喜雄

錦織圭人気で、彼が出演する主要大会はその都度テレビの特別番組が生まれ、深夜から明け方まで華麗で過激なプロのプレーが放映されています。ご多分にもれずその時は眠さを我慢しながらテレビに釘付けで観戦しています。最近、久々にテニスを楽しむ人々に若者が戻ってきた様に思えます。あちこちのテニスコートではひとところより若者のグループが増え、かつての最盛期のように楽しそうにプレーに興じている姿が見られます。しかし、私を取り巻くテニス仲間は高齢化が徐々に進み、若者が参加する気配がありません。テニスのラケットを握ってもう40数年になりますが、大会に出場する気はなく、仲間と楽しむリクリエーションテニスの範囲です。ただし、テニス・ゴルフ・スキーなど、スポーツや物事を楽しむにはあるレベルの技術を身につけると本来の楽しみ方が出来ると思い、YSKテニス同好会に参加する傍ら根岸テニススクールにずっと通い続けています。おかげで私たちの普段のプレーとはほど遠いものでありますが、プロのプレーを観戦する時も激しいプレーの中にいつもコーチに注意されている基本的動作を垣間見ながら楽しむ事が出来ます。しかし実際に自分がゲームの中で実行できることは別問題であります。私にとって長く続けてきたテニスは健康のバロメーターとストレス解消、いつまで続けられるか体力との相談ですが、最近ゲームに勝つことより、その日に1回でもナイスプレーが出来るよう心掛けています。YSKテニス同好会は平成9年4月に鹿島つるみスポーツセンターで第1回目が行われ、今年で18年を迎えます。今は毎週土曜日午前9:00～11:00まで大黒ふ頭中央公園テニスコートで行っており、12月には580回目となります。当会も高齢化が進み会員の欠席する頻度も高くなり、テニスに興味のある方(特に若い方)の入会をお待ちしております。



## ボーリング大会

(株)オオスミ 吉田 泰久

3月13日(金)第10回YSKボーリング大会を新杉田ボウルにて開催いたしました。正会員・協力会員の各社から例年にも増し、多数のご参加者により、日頃の運動不足、いや日頃の鍛錬の成果を競い合いました。また、今回は参加企業様からの支援のおかげで、各賞の発表時に大いに盛り上がる事が出来ました。参加された皆様、ありがとうございました。来年もご参加宜しくお願ひします。

個人・団体戦にて大活躍をされた「三ツ星ベルト(株) 山室さん」からのコメントです。  
【個人戦、団体戦で優勝しました三ツ星ベルト(株)の山室です。自己最高スコア(199)を出すことができ、楽しく汗を流せました。また、メンバーにも恵まれ、皆様と幸せな時間を過ごせました。】



## 協力会 新入会紹介



ウエキ園芸(株) 松永 透

協力会に新たに入会させて頂きましたウエキ園芸株式会社の松永と申します。弊社は、「自然との共生」をテーマに緑を演出し、豊かな時代のグリーンータルプロデューサーとして、グリーンレンタル(観葉植物レンタル)から花装飾(プランターリース、イベント装飾、壁面緑化等)、お庭の手入れ・緑地メンテナンス等、時代のニーズに応える緑化事業に取り組んでおります。暮らしの中でグリーンを気軽に楽しんで頂けますように、さまざまな植物にてご提案が出来ますので、お気軽にお問合せ頂ければと思います。長年、お手入れをされていない植栽地、また既存の管理会社様との比較も無料にて御見積り出来ますので、こちらも合わせてお問合せ頂ければと思います。皆様のお役にたてれば幸いです。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

はじめまして



(株)日立ビルシステム横浜支社 山内 聡

今年7月より加入いたしました(株)日立ビルシステム横浜支社:山内(やまのうち)と申します。当社の名前は、エレベーターによく貼ってある「B U I L C A R E」のシールが身近なので、エレベーターの保守会社として認知されているかも知れません。しかし実際は、昨年より(株)日立製作所から昇降機製造事業の移管を受け事業内容が大きく広がりました。これにより現在は日本国内の昇降機に関し「製造」「販売」「メンテナンス」を一貫して行う会社となっております。また昇降機と並び当社の事業の柱となっているのが防犯カメラ等のセキュリティー商品や省エネ商品など、建物に関する様々なビル商品です。きっとどこかの場面で当社の商品が皆様のお役に立つ可能性があると思っておりますので、お気軽にお声がけ下さい。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしく願っています。

はじめまして



(株)エービーシー商会 武市 潤一郎

今年度よりYSKに再入会させていただくこととなりましたABC商会の武市です。当社は内装・外装の意匠材を中心に広く取り扱っており、現在横浜営業所には「セメント系塗床材」「樹脂系塗床材」「金物系建材」の3部門を常駐させております。新築物件のご計画は勿論、現場調査を含めた床の改修やexp.j.c・目隠しルーバーの作図協力も対応させていただきますので是非ご相談下さい。また横浜営業所の3部門以外にも、各種長尺シート、セラミックタイル、天井材、人工大理石等も東京本社に専門部署を置いておりますので併せて対応させていただきます。これまでにない発想で新商品・新工法を建築業界に紹介・普及させていただくことを当社の重要な役割と考えており、毎年新商品を導入した建材カタログを用意しております。まだご覧になっていない方は是非、今年度版の『建材総合カタログ』を御手に取っていただければと思います。ご希望がありましたらいつでもご依頼ください。横浜に於ける組合の活動を盛り上げていく一員として努めていきたいと思っておりますので何卒よろしく御願い申し上げます。

はじめまして

### 【編集後記】

新しい年を迎え、皆様がたにおかれましては今年一年は健康に気を付けて仕事だけでなく趣味や運動に頑張ると決めておられることと存じます。広報委員会では昨年はホームページの刷新を行い、組合員だけでなく市民の皆様方に喜んで見ていただきたいと頑張ってきました。今年も広報委員会一丸となって組合の広報に努めてまいりたいと思っておりますのでいろいろなお意見を頂ければと願っております。

(広報委員長 佐藤 恵)

■ 発行 2016年1月14日

■ YSK広報委員会 koho@ysk.or.jp

池谷 透 佐藤 恵 鈴木武昭 児崎為之 石塚 治 瀬戸 仁 小材裕志 白川 幹

■ 協力 (株)サカクラ (株)LIXIL 菊水化学工業(株) (株)オオスミ 文化シャッター(株) 化研マテリアル(株)  
(株)建通新聞社 (株)ヒライデ